



優秀賞

大阪市子ども会育成連合協議会会長賞

大阪市立 管北小学校

五年 井上 結葉

とどけ！このわたしの思い

「えっ！」

そのとき、わたしはニュースを見ていた。そのニュースは、わたしと同じ小学五年生の女の子が自転車で交通事故にあったというニュースだった。わたしは自転車をよく使っているのですが、とてもおそろしかった。しかも、わたしと同じ学年の子でも交通事故にあうのだなと思い、動きが止まるほどこわかった。近くにいたお母さんが、

「学校に行くときや習い事にいくときは、右左を見て、安全確認をしてから進んでね。車に気をつけるんだよ。」

と言ってくれた。

よく朝、いつものように、わたしは小学校に出発し、いつものようにお母さんは、

「車に気をつけてね。」

と言ってくれた。わたしはいつも以上に自動車に気をつけ

て登校した。わたしの学校の前には信号機がないおうだん歩道がある。そこにはいつも、緑のゼッケンを着た安全パトロールのおじいちゃんやおばあちゃん達が毎日立ってください。そのおうだん歩道は学校に行く道の中で一番あぶないところなのに……。危険な場所です、わたし達のことを守ってください。今までは、この五年間同じ道を通っていたのに、こんなに深く考えたことはなかった。

そのことがあってから、大人の人が信号を守っていなかったりしていたら、思わず、ダメだよと言いたくなる時がある。もしかしたら、他の人までまきこまれて、けがをしているのをわたしの目で見たくないから……。世界中には何百人、いや何千人もの人が交通ルールを守っていないと思う。その交通ルールを守っていない人も、このわたしの思い、わたし以外にもこの思いの人もいるかもしれない。その思いが伝わってほしい。もし、わたしの大切な人が、事故にあうと考えただけでもいい。今、自分にできることから取り組むことで、未来は変わるかもしれない。